

第17回長野マラソン 出場者アンケート 報告書

(2015年4月19日～5月13日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4
III	質問ごとの内容	16
IV	単純集計	34
V	調査票	38

長野マラソン大会組織委員会
一般社団法人 長野県世論調査協会

I 調査の設計

◆調査の目的

第17回長野マラソンは4月19日、長野運動公園～長野オリンピックスタジアムの42.195キロで開催した。9558人が出場し、8372人（男子7135人、女子1237人）が完走。男子はチルチル選手（ケニア）が優勝、女子はジェプケンボイ選手（ケニア）が優勝した。

長野マラソン大会組織委員会と長野県世論調査協会は、これからの大会運営と長野市のまちづくりのあり方を探るため、恒例の参加ランナーを対象とするアンケートを共同で実施した。

◆調査の設計

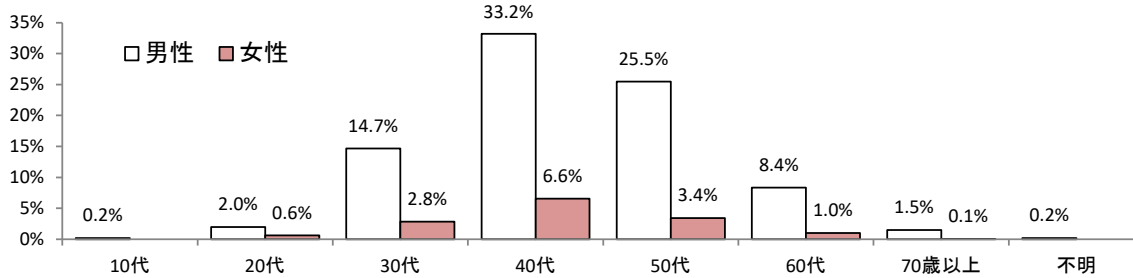
▽調査対象	国内一般の部出場者 9747人
▽調査方法	前日の受付の際に配布 回収はインターネット、郵送、ファクス
▽調査期間	2015年4月19日～5月13日
▽回収結果	有効回収数 1793人（回収率18.40%）
▽調査主体	長野マラソン大会組織委員会 一般社団法人長野県世論調査協会

<注>報告書のパーセント数字は小数点2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

◆サンプルの内訳

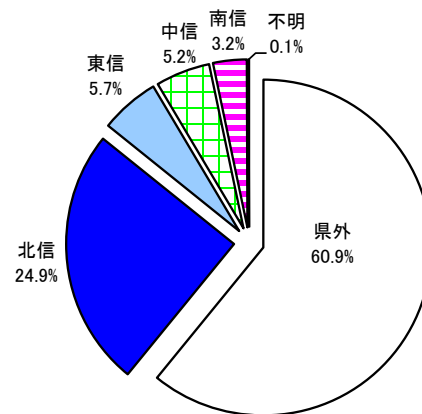
【性別と年代】

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
全体	1793	3	46	314	713	518	168	28	3
	100.0%	0.2%	2.6%	17.5%	39.8%	28.9%	9.4%	1.6%	0.2%
男性	1533	3	35	263	595	457	150	27	3
	85.5%	0.2%	2.0%	14.7%	33.2%	25.5%	8.4%	1.5%	0.2%
女性	260	-	11	51	118	61	18	1	-
	14.5%	-	0.6%	2.8%	6.6%	3.4%	1.0%	0.1%	-



【住所】

県外	1092	60.9%
長野県内	701	39.1%
北信	446	24.9%
東信	102	5.7%
中信	94	5.2%
南信	58	3.2%
不明	1	0.1%



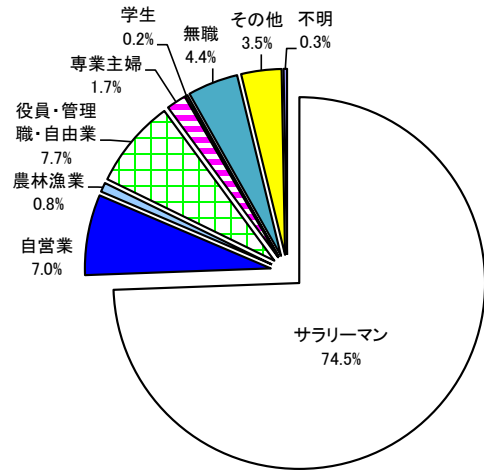
【都道府県】

北海道	6	0.5%
青森県	2	0.2%
岩手県	2	0.2%
宮城県	13	1.2%
秋田県	1	0.1%
山形県	2	0.2%
福島県	9	0.8%
茨城県	6	0.5%
栃木県	8	0.7%
群馬県	21	1.9%
埼玉県	107	9.8%
千葉県	69	6.3%
東京都	253	23.2%
神奈川県	112	10.3%
新潟県	56	5.1%
富山県	23	2.1%
石川県	15	1.4%
福井県	8	0.7%
山梨県	13	1.2%
岐阜県	29	2.7%
静岡県	27	2.5%
愛知県	139	12.7%
三重県	25	2.3%
滋賀県	11	1.0%

京都府	10	0.9%
大阪府	55	5.0%
兵庫県	25	2.3%
奈良県	10	0.9%
和歌山県	3	0.3%
鳥取県	2	0.2%
島根県	-	-
岡山県	4	0.4%
広島県	4	0.4%
山口県	2	0.2%
徳島県	2	0.2%
香川県	1	0.1%
愛媛県	1	0.1%
高知県	1	0.1%
福岡県	8	0.7%
佐賀県	-	-
長崎県	1	0.1%
熊本県	1	0.1%
大分県	-	-
宮崎県	1	0.1%
鹿児島県	2	0.2%
沖縄県	2	0.2%

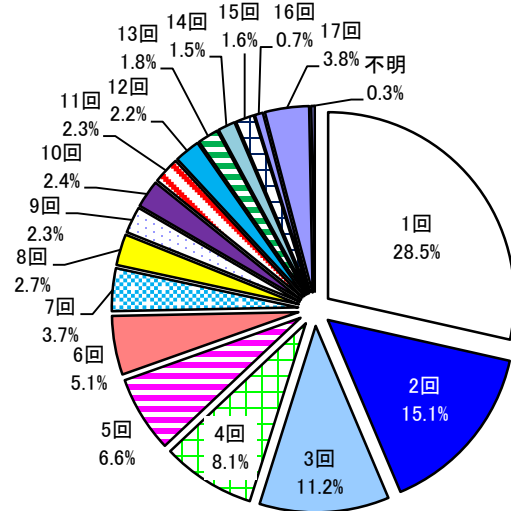
【職業】

サラリーマン	1335	74.5%
自営業	126	7.0%
農林漁業	14	0.8%
役員・管理職・自由業	138	7.7%
専業主婦	31	1.7%
学生	3	0.2%
無職	78	4.4%
その他	63	3.5%
不明	5	0.3%



【F5 申し込み回数(今大会を含む)】

1回	511	28.5%
2回	270	15.1%
3回	200	11.2%
4回	145	8.1%
5回	118	6.6%
6回	92	5.1%
7回	67	3.7%
8回	49	2.7%
9回	41	2.3%
10回	43	2.4%
11回	42	2.3%
12回	39	2.2%
13回	33	1.8%
14回	27	1.5%
15回	28	1.6%
16回	13	0.7%
17回	69	3.8%
不明	6	0.3%

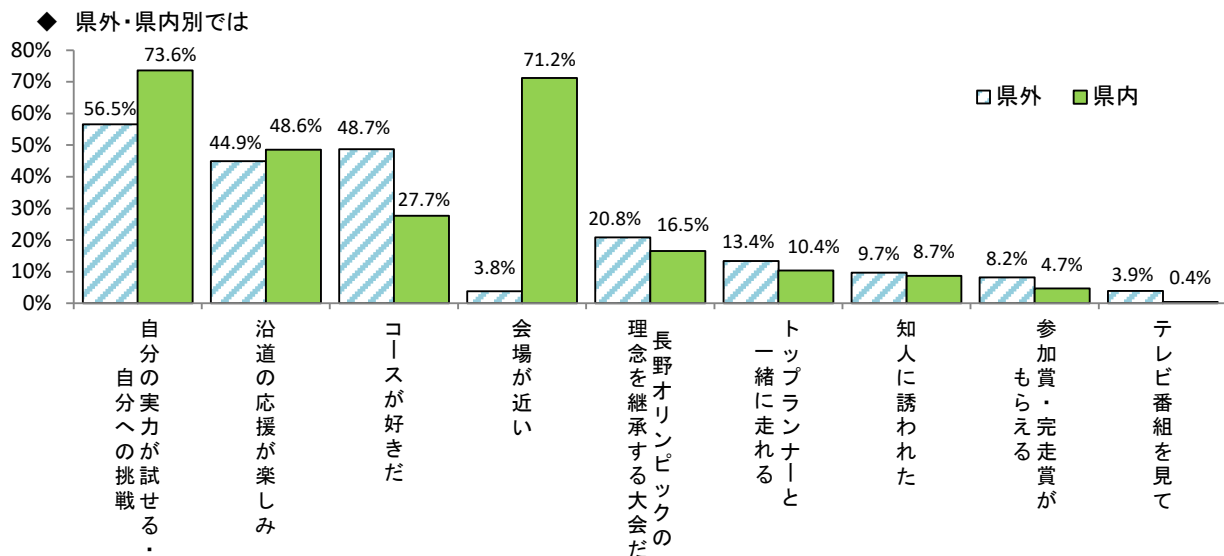
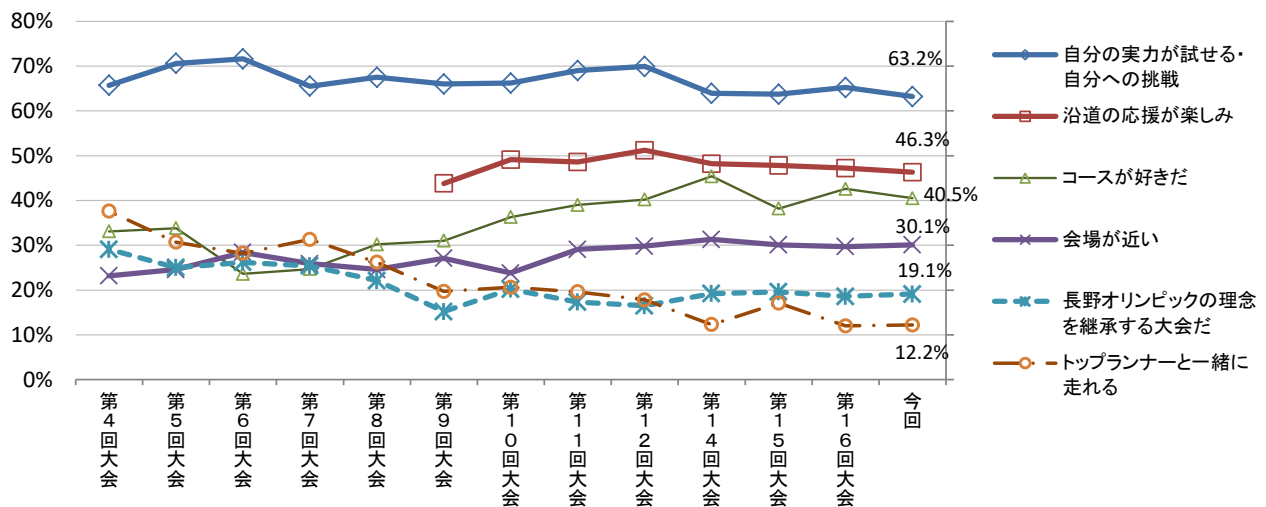


II 結果の概要

参加の動機 「自分の実力が試せる・自分への挑戦」63%

今大会に参加した動機で最も多かったのは「自分の実力が試せる・自分への挑戦」の63%。2番手は「沿道の応援が楽しみ」の46%、3番手は「コースが好きだ」の41%で、以下「会場が近い」(30%)、「長野オリンピックの理念を継承する大会だ」(19%)、「トップランナーと一緒に走れる」(12%)と続く。前回大会と順位に変動はない。

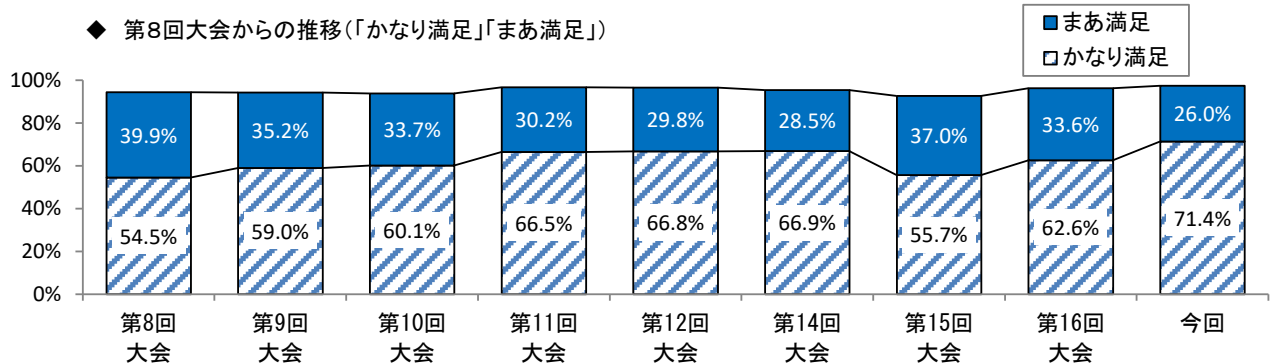
県外勢で「コースが好きだ」、県内勢で「自分の実力が試せる・自分への挑戦」、「会場が近い」が高い。



参加の感想 「かなり満足」初めて7割超

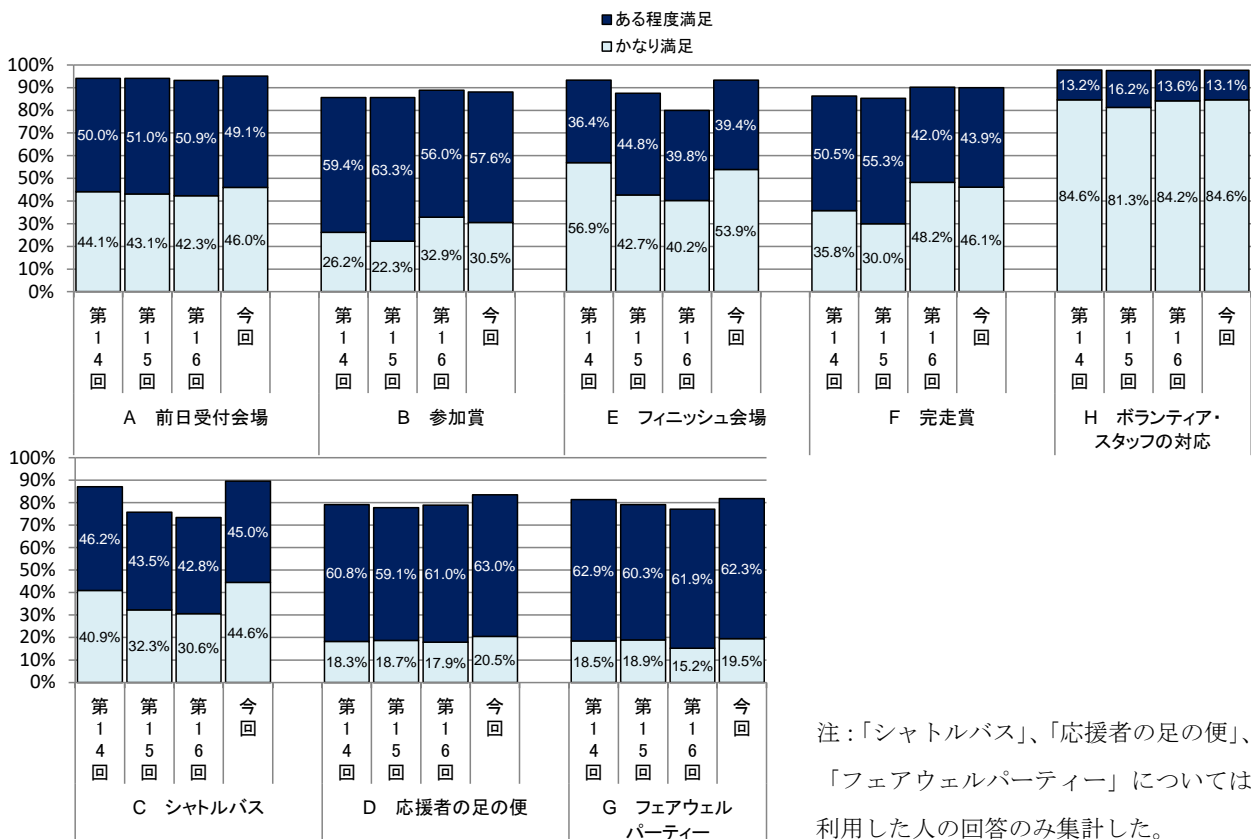
「かなり満足」が71%と前回より8ポイント増加。「まあ満足」の26%と合わせると97%が満足と答え、前回は1ポイント上回り高い満足度を維持している。

ほとんどの属性で9割以上の満足度だ。



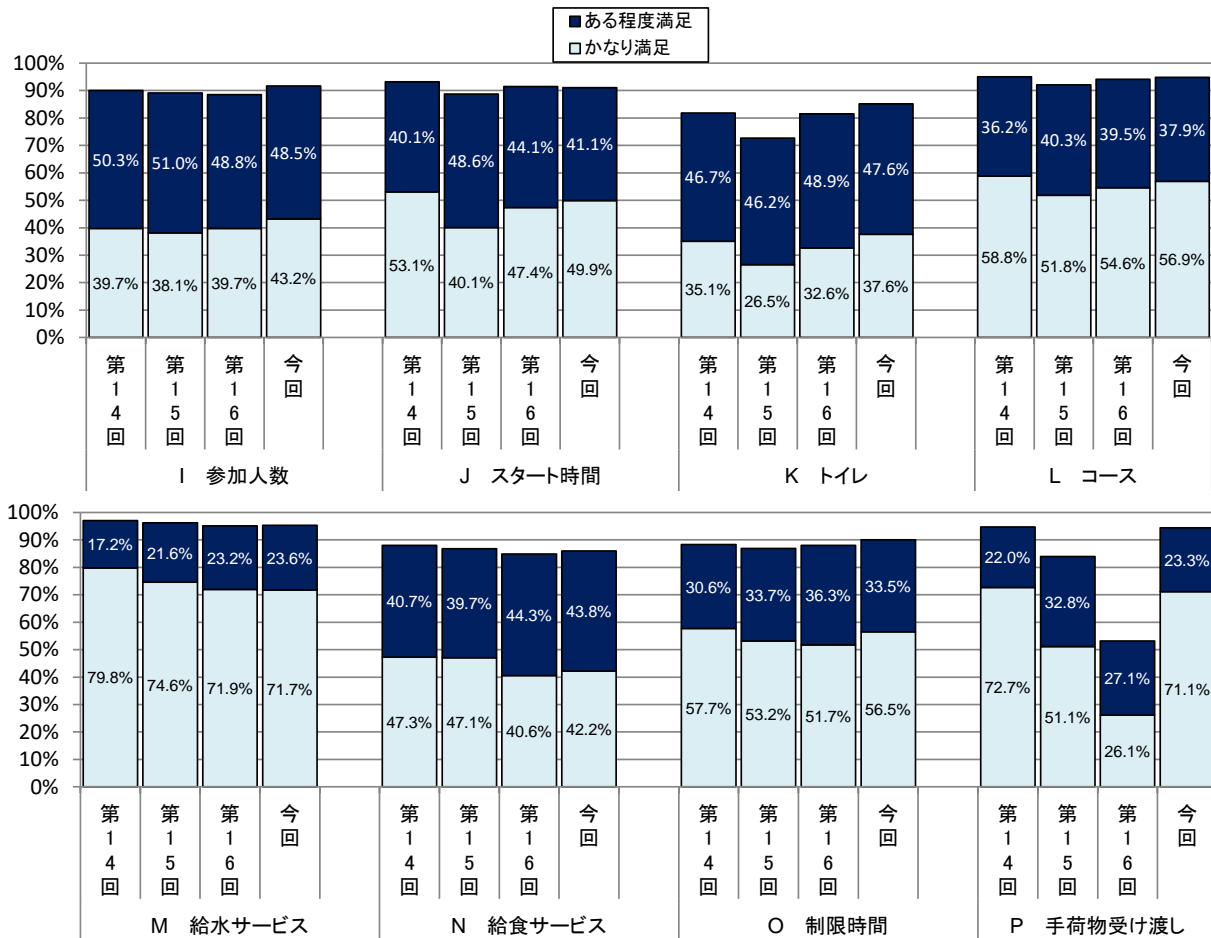
満足度 大会運営・催し物

8項目にわたって満足度を聞いたところ最も高かったのは「ボランティア・スタッフの対応」で「かなり満足」が大半を占める85%。「シャトルバス」で「かなり満足」が前回から14ポイント増の45%と高い。「満足」の全体で全項目とも約9割と過去3大会を上回る。



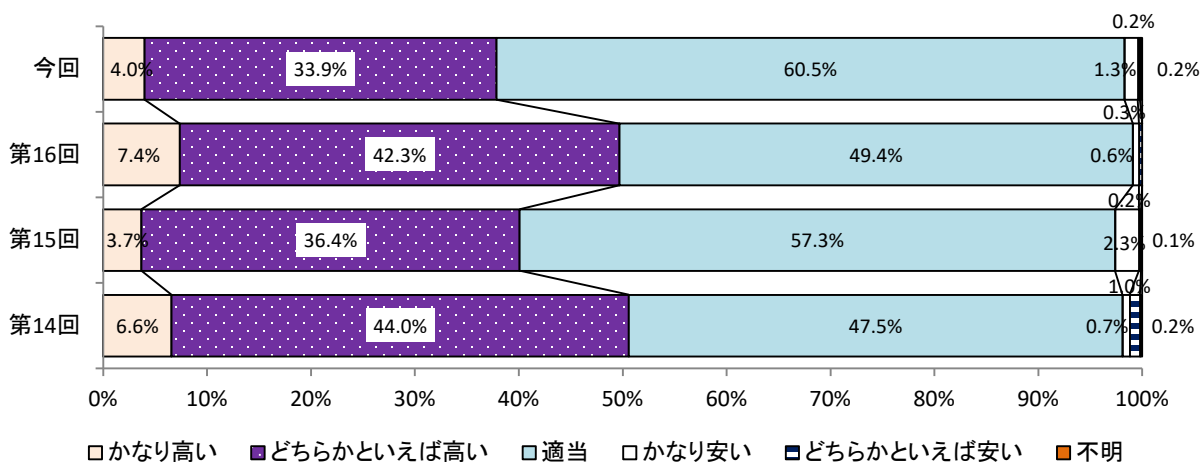
満足度 レース運営・サービス

「手荷物受け渡し」で「かなり満足」が前回から 45 ポイント増の 71%。「まあ満足」と合わせて 94%で、第 14 回大会の水準に回復した。全体的に「かなり満足」が増加しているが、「給水サービス」と「給食サービス」は前回並みの満足度にとどまる。



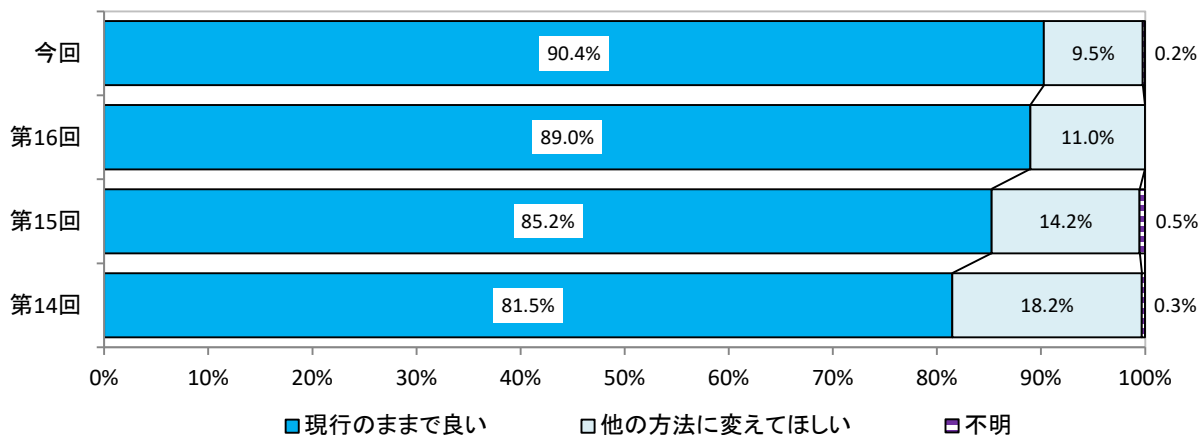
評価 参加料

「高い」が全体で 38%と前回より 12 ポイント減少した。「適当」が 6 割を超えこれまでで最も高い。県外勢や申し込み回数 1 回で「高い」が 3 割前後と低め。



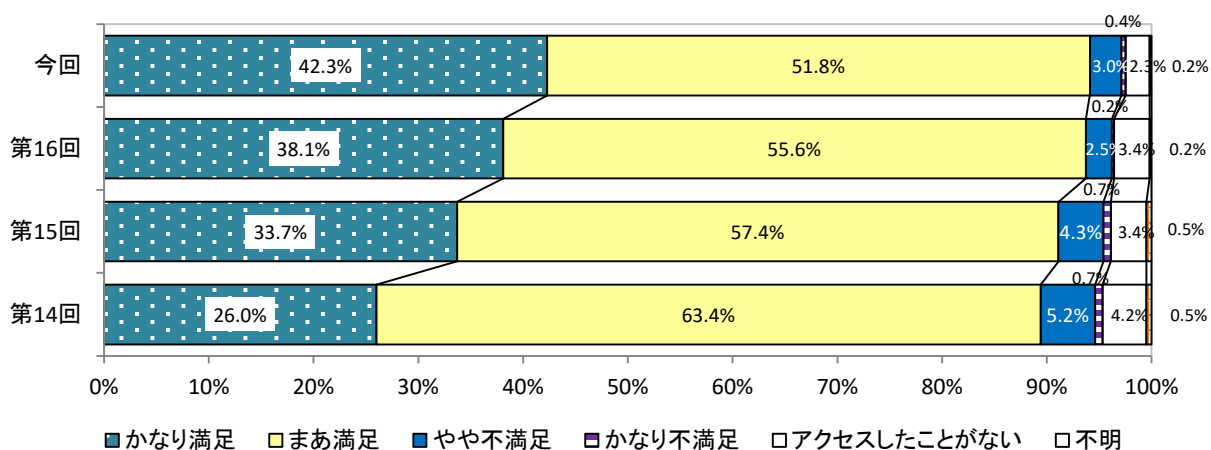
評価 エントリー

「現行のままで良い」が前回から微増の90%と、ほとんどの参加者が現行のエントリー方式を評価している。



評価 公式ホームページ

「かなり満足」が42%で前回より4ポイント増。「アクセスしたことはない」は2%のみ。

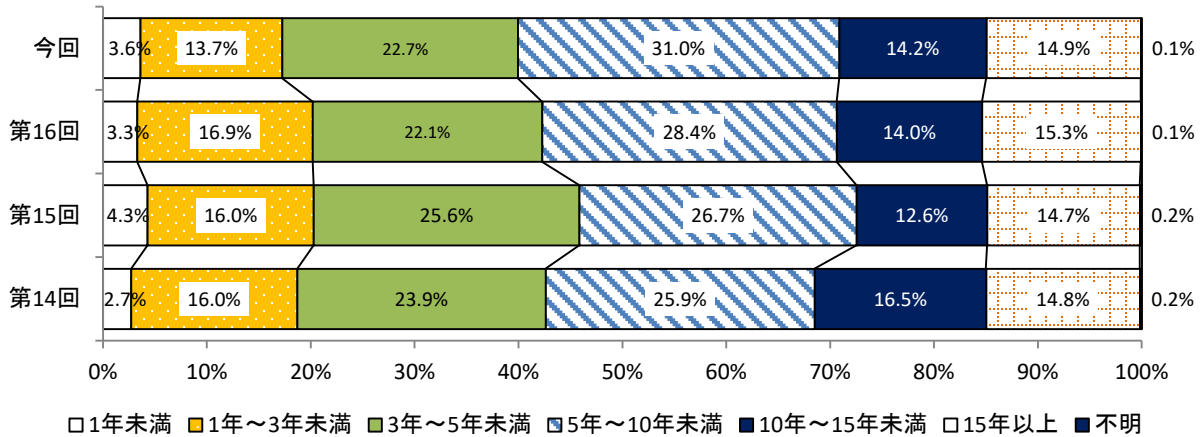


マラソン歴

期間とフルマラソンの経験

「5年～10年未満」3割超す

マラソンを始めてからの期間で最も多かったのは「5年～10年未満」の31%で、前回から3ポイント増。次いで「3年～5年未満」の23%で、約半数が3年～10年未満にあたる。60代以上の高齢層で「15年以上」が4割以上と高い。



1年間のフルマラソン出場回数は「2～3回」が37%で最も多く、「1回」が30%で続く。「4～5回」が初めて2割を越え、3人に1人が年に4回以上出場している。県内勢は「1回」が59%と高い。

